

① 環境保全に関する基本方針

関西エアポートグループは、地域および地球規模での環境問題について大きな責任を担っていると考えています。空港運営における環境負荷と課題を明確にして定量的な負荷量を把握し、低減するための対策に目標を設定しています。定期的に進捗確認や評価を行い、空港を取り巻く社会状況の変化に対応しながら、取り組み内容の改善や新しい分野へのチャレンジを行い、環境負荷低減に向けて積極的に取り組んでいます。

関西国際空港・大阪国際空港・神戸空港の3つの空港を対象とした環境計画「One エコエアポート計画」を策定し、2018年度よりスタートさせました。2018年度から2022年度までの5ヵ年を対象としており、4つの方針のもと、関西3空港一体となって環境負荷低減に向けた活動を推進しています。

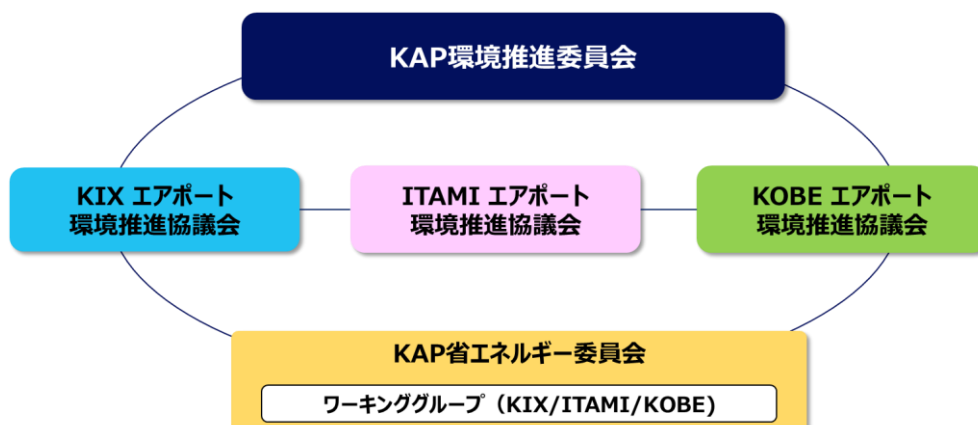


また、関西エアポートグループは、2050年までに温室効果ガスの排出を実質ゼロとする長期目標を設定しました。国際社会や日本において、2050年までに温室効果ガスの排出を実質ゼロとし、脱炭素社会を実現する目標が掲げられています。関西エアポートグループでは、これまでも関西3空港（関西国際空港：KIX、大阪国際空港：ITAMI、神戸空港：KOBE）において環境への負荷を低減するための様々な活動に取り組んできましたが、更なるエネルギー消費の削減と再生可能エネルギーの利用などにより、CO₂の排出実質ゼロの状態（カーボンニュートラル）に向けて、中長期的な対策を計画・推進します。

② 環境保全に関する組織の現況

関西エアポート株式会社では「環境推進委員会」を設置し、計画の推進、目標達成状況の分析や評価、取り組みの改善を行っています。また「省エネルギー委員会」、

においては、省エネルギーならびに温室効果ガス排出量の低減に向けて具体的な対策を進めています。さらに、3空港それぞれに設置されたエアポート環境推進協議会を通じて空港関連事業者などと協力し、連携しながら取り組みを推進しています。



③ 環境目標値及び取り組む環境保全活動

関西エアポート神戸株式会社では環境にやさしいスマートエアポートの実現に向けて、2022年度は以下の施策に取り組んでいきます。

A) 気候変動への対応

<目標>

- ・エネルギー使用量 対2019年度比3%削減
- ・CO2排出量 対2019年度比3%削減

<取り組み内容>

- ・照明・空調運転の管理徹底
- ・エネルギー管理システムの導入

B) 資源循環

<目標>

- ・上水使用量 対2019年度比6%減
- ・廃棄物リサイクル率向上

<取り組み内容>

- ・再生水・雨水の利用の継続実施
- ・廃棄物の分別収集の徹底

C) 周辺環境との共生

<目標>

- ・適切な環境監視
- ・生物多様性に配慮した環境創造

<取り組み内容>

- ・ 航空機騒音の監視と公表
- ・ ばい煙発生施設の適正管理

D) 環境マネジメント

<目標>

- ・ 環境認証の取得
- ・ マネジメント体制の構築

<取り組み内容>

- ・ ACA (Airport Carbon Accreditation) Level 4 の維持
- ・ 事業者・他空港との連携

※具体的数値目標は、原単位あたりの数値です。

※コロナウイルスの影響による大幅な数値の変動がある場合は、数値の補正や指標の見直しを行う場合があります。